

平成30年度 朝来市 全国学力・学習状況調査結果

平成30年4月17日、小学校6年生と中学校3年生を対象に、児童生徒の「国語」「算数・数学」「理科」の学力や学習状況を把握・分析し改善を図ることを目的として、「全国学力・学習状況調査」が行われました。朝来市の子どもたちの現状を分析した概要をお知らせします。

調査結果の分析

A問題：主として「知識」に関する問題

B問題：主として「活用」に関する問題

小学生

国語

知識問題…全国平均と同程度
活用問題…全国平均と同程度

算数

知識問題…全国平均と同程度
活用問題…全国平均と同程度

理科

知識問題…全国平均と同程度
活用問題…全国平均と同程度

国語A	すべての領域において全国平均とほぼ同程度である。
国語B	すべての領域において全国平均とほぼ同程度である。
算数A	「数と計算」は全国平均を下回る。
算数B	「量と測定」「図形」は全国平均を下回る。
理科	「観察・実験の技能」は全国平均を下回るが、「自然事象についての知識・理解」は全国平均を上回る。

中学生

国語

知識問題…全国平均と同程度
活用問題…全国平均と同程度

数学

知識問題…全国平均より下回る
活用問題…全国平均より下回る

理科

知識問題…全国平均と同程度
活用問題…全国平均と同程度

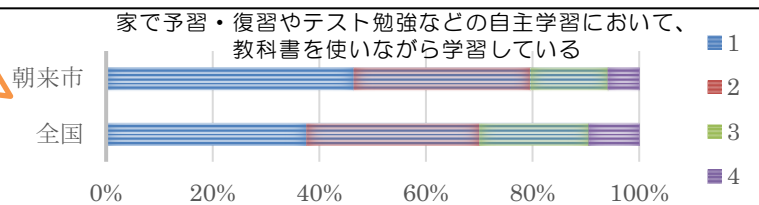
国語A	すべての領域において全国平均とほぼ同程度である。
国語B	「話すこと・聞くこと」は全国平均を下回る。
数学A	「資料の活用」は全国平均を下回る。
数学B	「図形」は全国平均を下回る。
理科	すべての領域において全国平均とほぼ同程度である。

平均正答率をみると、朝来市の子どもたちは、主として活用問題に課題があります。いわゆる応用を苦手とする傾向が近年見られます。

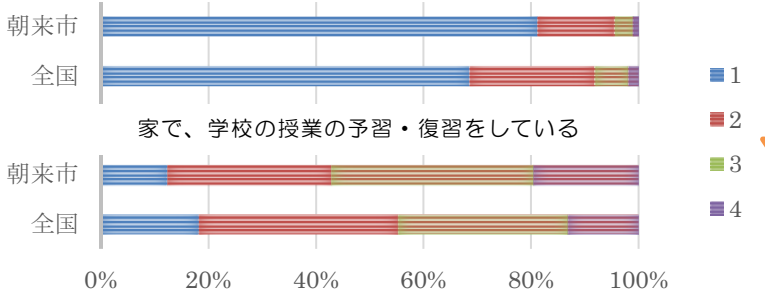


<小学校>

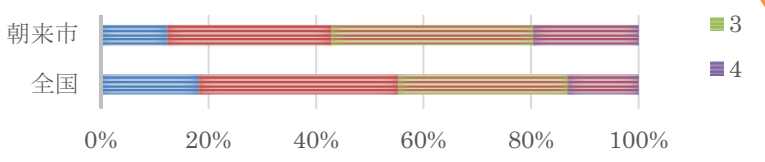
家で予習・復習やテスト勉強などの自主学習において、教科書を使いながら学習している児童の割合は、全国平均よりも高い。



家で、学校の宿題をしている



家で、学校の授業の予習・復習をしている



- 1 当てはまる
- 2 どちらかと言えば当てはまる
- 3 どちらかと言えば当てはまらない
- 4 当てはまらない

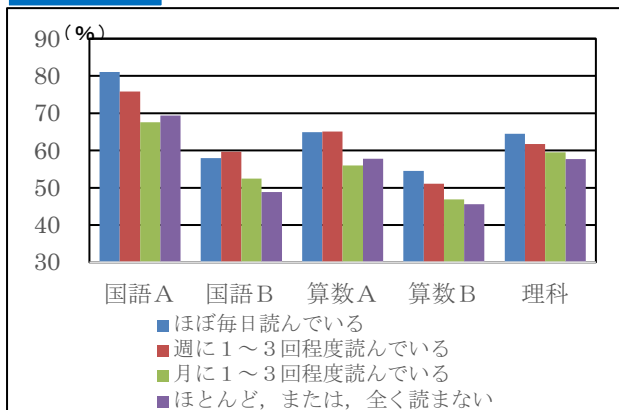
<中学校>

家で学校の宿題をしている生徒の割合は全国平均よりも高いが、学校の授業の予習・復習をしている生徒の割合は低い。

学力向上のポイント！ ～児童生徒質問紙の回答結果から～

◎こんな児童生徒は、全ての調査の正答率が良好でした。

小学生 【新聞を読んでいますか】



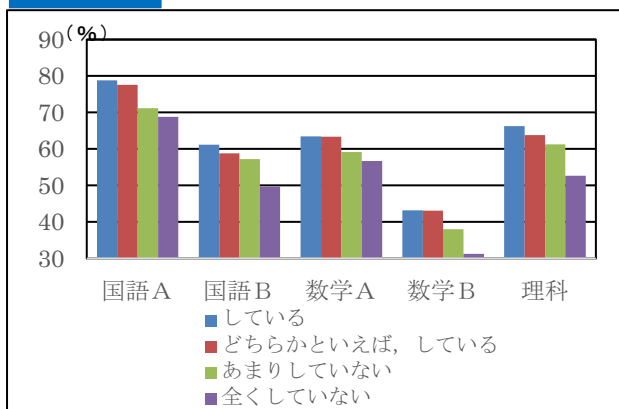
ポイント!!

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心のある児童ほど正答率が高い。

＜具体的には＞

- ・新聞をほぼ毎日読んでいる。
- ・人の役に立ちたいと思っている。
- ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立等を工夫して発表する。
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。

中学生 【毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか】



ポイント!!

基本的な生活習慣が身につけている生徒ほど正答率が高い。

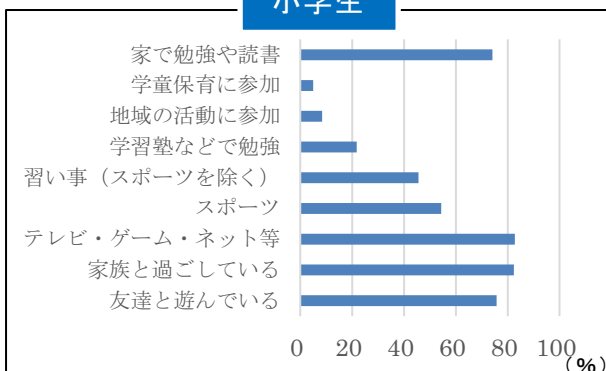
＜具体的には＞

- ・朝食を毎日食べている。
- ・起床・就寝時刻が毎日同じくらい。
- ・家で、学校の宿題をしている。
- ・学校の規則を守っている。
- ・自分には良いところがあると思っている。

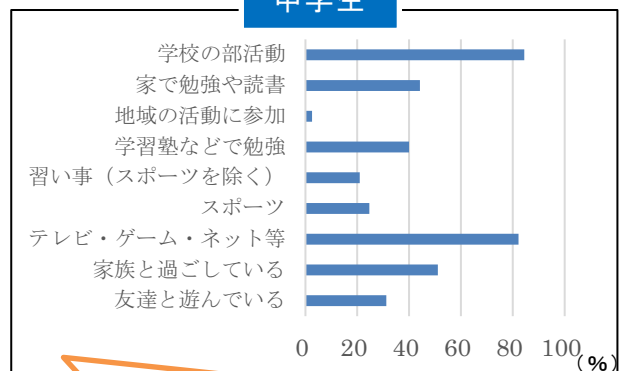
◎朝来市の児童生徒の基本的な生活習慣には、このような傾向がみられました。

小・中学生 【放課後に何をして過ごすことが多いですか】（複数回答）

小学生



中学生



小学校・中学校ともに、放課後や週末に家でテレビやビデオ・DVD を見たり、ゲームをしたりインターネットをしたりしている児童生徒の割合が全国平均よりも高い。

ポイント!!

毎日の生活時間を有効に使うことが大切。
(テレビ、スマホ等に依存しない。)

＜具体的には＞

- ・テレビやゲーム、インターネットなどは、約束を決めて使用する。
- ・学校と家庭が連携し、ノーテレビ・ノーゲームの取組を継続して行う。